

千葉商科大「地元再発見コンテスト」

地元再発見コンテストで最優秀賞を受賞した津久井さん(左)と小林さん

飯山・笹ずしで最優秀賞

長野女子高の2人体験プラン提案



長野女子高校(長野市)のインターアクトクラブに所属するともに1年の津久井里菜さん(16)と飯山市上倉の小林寧巴さん(16)と長野市西尾張部が、千葉商科大(千葉県市川市)商経学部主催の「地元再発見コンテスト」で最優秀賞を受賞した。2人は飯山

111件の応募があった。2人が提案したプランは、事前予約制で2500円。飯山の郷土食の魅力を観光客らにアピールし、年中体験できることから、農閑期でもお年寄りが生きがいを持って働ける地域づくりにつながるとした。2人は昨秋、飯山市の郷土料理を研究、発信する住民団体「飯山食文化の会」から笹ずし作りも学んだ。

2人は14日、飯山市役所に足立正則市長を訪ね、結果を報告。津久井さんが小学生の頃、市内のお年寄りから笹ずし作りを教わった体験が今回のプラン発案のきっかけだったといい、津久井さんは「これからも地域のことについて考えたい」。小林さんは「海外への販売などについても考えたい」と話した。足立市長は「今後も若い感性で飯山の活性化についてアイデアをどんどん提案してほしい」と期待していた。